

Direct-Information of Orienteering in Nippon

(公社) 日本オリエンテーリング協会 理事会・事務局便り

第 51 号 (2025 年 6 月 13 日発行)



新会長を迎え、新たな体制のもとで第 14 期が始動いたしました。多くのご意見を頂戴する中、一同あらためて身を引き締め、オリエンテーリング界の発展に一層尽力してまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

本号の内容

- ・ 会長就任のごあいさつ
- ・ 第 20 回日本スポーツグランプリ 石田亘宏氏、石田美代子氏が夫婦で受賞
- ・ 第 13 期定期総会等開催報告
- ・ MTBO JAPAN Team 近況
- ・ マスターズ世界選手権が、日本で開催されます
- ・ 今後の公認大会・講習会のお知らせ

●会長就任のごあいさつ



このたび、日本オリエンテーリング協会の会長を拝命いたしました野田聖子です。

私はこれまで、政治の場において、特に子どもや若者、そして女性が安心して活躍できる社会の実現に取り組んでまいりました。今回、自然の中で自ら考え、判断し、行動するスポーツであるオリエンテーリングの発展に携わる機会をいただいたことを、大変光栄に感じております。

オリエンテーリングは、単なる競技を超え、自己との対話、他者との連帯、そして自然への敬意を育む素晴らしいスポーツです。競技者はもちろん、指導者、運営者、地域の皆様など、多様な立場の方々が関わり合いながらこの競技が成り立っていることに、深い感銘を受けています。

私の役割は、この競技の魅力と意義をより多くの方々に知っていただき、未来を担うジュニア世代の育成、地域社会との連携、そして国際的な交流のさらなる推進に力を尽くすことだと考えています。

全国のオリエンテーリング愛好者の皆様とともに、新しい風を起こし、このスポーツが持つ可能性をさらに広げてまいります。今後とも、日本オリエンテーリング協会の活動にご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

●第 20 回日本スポーツグランプリ 石田亘宏氏、石田美代子氏が夫婦で受賞

公益財団法人日本スポーツ協会が主催する日本スポーツグランプリにて、愛知県オリエンテーリング協会の石田亘宏氏と石田美代子氏がご夫婦で受賞されました。51年にわたる競技活動、中でも海外でのマスターズ大会に13回出場し、70歳以上のクラスで輝かしい成績をおさめられていることが評価されました。

お二人の経歴等、詳細は下記よりご覧いただけます。

日本スポーツグランプリ: <https://www.japan-sports.or.jp/news/tabid92.html?itemid=5167>

●第 13 期定期総会等開催報告

6 月 7 日(土)に東京都 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE にて、第 13 期定期総会と第 48 回理事会を開催しました。総会では2024年度事業報告と理事の承認についてなどが話し合われ、その後質疑応答や意見交換が行われました。

総会後の2024年度 JOA 表彰式では、長年の功労を称えて3名が表彰されました。愛知県オリエンテering協会から推薦の、小野盛光氏を県協会への多大な尽力により、岡野英雄氏を中学・高校生への指導の功績により表彰しました。また宮城県オリエンテering協会から推薦の三上千香子氏を県内での指導・普及の功績により表彰しました。

夕方からは日本代表選手壮行会も開催されました。オフィシャルパートナー様や選手のご親族の方々をお招きし、フット O (WOC、JWOC、東京 2025 デフリンピック)、MTBO、トレイル O、スキー O の各選手団へ認定証の授与や選手紹介が行われました。



●WMMTBOC(世界マスターズ MTB オリエンテering選手権大会)報告 (MTBO 委員会)



2025年5月1日～4日にかけて、スペイン ムルシアで開催された、WMMTBOC(世界マスターズ MTB オリエンテering選手権大会)へ出場してきました。

今回出場したのは M55 クラスに樋口一志選手、W55 クラスに加納尚子選手の2名。

大会は4月30日のモデルイベントからはじまり、1日ミドル、2日マススタート、3日ロング、4日スプリントと、4日間連続でレースが開催されました。

ムルシアはスペイン南東部の海岸線から少し内陸に入った位置にあり、オレンジとレモンの栽培が盛んです。農耕地以外にほとんど樹木はなく、乾いた岩山に草叢が点在している程度で、日本と比べると、ほぼ砂漠のような丘陵地帯でした。道路から見える山の景色には、どの丘にも谷にも、MTB で走りこんでいるようなオフロードが縦横に見えます。さすが自転車の国。

加納選手、ロングの表彰式にて
2つ目の金メダル

マスターズ世界選手権大会は、5歳刻みでクラスが分かれているため、前回同じクラスで競った相手も、毎年少しずつ入れ替わりが違って違うクラスになっていきます。トレーニングを重ねてきているとはいえ、大会が始まってみないと、自分のクラスのライバルたちの実力がどれほどのものかが判りません。前回からは2年ぶりの出場で、正直どうなるか、期待と不安が交錯した状態で、大会は始まりました。

初日のミドルは、山間の盆地に広がるレモン畑の中を縦横無尽に走り回る、他では体験できないような特殊なトレイン、難しくてタフなレースでした。レモン畑の横のフェンスにハンドルをひっかけてこけたり、路面の割れた土管の穴に落ちたり、枯れた水路の中を走って、段差は MTB を放り上げてからよじ登ったり、ひたすら必死に走りました。加納選手がフィニッシュしたところ、同じクラスの選手はまだ誰も帰ってきていないとのこと、結果は優勝でした。樋口選手は1ヶ台のレースを展開していたのですが、メカトラ(チェーン切れ)を起こしてDNF。

2日目はマススタート。午後3時すぎからのレースは、照り付ける日差しに、乾燥して砂埃の舞う、気温30度越えの荒地の中をかけるサバイバルレースでした。加納選手は後半のテクニカルな廃墟エリアで同じクラスの選手と並走になり、最後の最後で競り負けてしまい結果は2位でした。樋口選手は11位。多くの選手がミスパンチ等で失格になる中、過酷な環境下で健闘しました。

3 日目はロング。ムルシア北東部にある自然保護区の公園内で行われました。尾根筋、谷底に伸びるトレイルを使い、ナビゲーション能力以上にバイクコントロールスキルも問われるロングらしいコースでした。ルートチョイスのミスや、分岐に惑わされたりなどもありましたが、後半はペースを上げてフィニッシュ。ドキドキしながら速報を確認したら、1 位でした。樋口選手は26位。M55 クラスは参加選手が最も多い激戦クラスということもあり、厳しい戦いだった様子。

4 日目のスプリントは、ムルシア大学構内で行われました。フット O なら普通のキャンパス内スプリントですが、MTB だとバイクのスピードに自分の認識が追いつかず、方向変化についていくことや、リロケートについてもフット O より難しく感じます。また秒単位のミスも大きく響きます。加納選手は地図表記に惑わされたミスなどもあり、結果は 2 位でした。樋口選手は得意種目ということもあり 8 位。より上を目指せる感覚をつかんでの大会終了でした。

今回の大会では、日本選手は W55 クラスで金メダル 2 個、銀メダル 2 個、合計 4 個のメダルを獲得することができました。2023 年の結果が、偶然や幸運ではないことを証明できました。

MTBO はオリエンテーリング競技の持つ幅広い魅力を体験できる種目です。8 月にはポーランドで世界選手権大会が開催されます。これから毎週、国内で MTBO 練習会をしていますので、機会があればぜひご参加ください。

MTBO JAPAN: <https://www.facebook.com/groups/mtbojapan/>

●マスタース世界選手権が、日本で開催されます (WMG2027 実行委員会委員長 愛場庸雅)

2027年5月に、国際マスタースゲームズ協会(IMGA)の主催する、「ワールドマスタースゲーム(WMG)2027(関西)」が開催されることは既に決定していましたが、この中のオリエンテーリング競技が、IOF 主催のワールドマスタースオリエンテーリング選手権(WMOC)2027として行われることが正式決定しました。

これはもともと 2021 年に開催される予定だったものが、コロナ禍で延期になっていたものです。日程は、2027 年 5 月 21 日～29 日(WMG 全体は 5 月 14～30 日)で、スプリント種目(神戸市、5 月 21～23 日)とフォレスト種目(兵庫県養父市、香美町、神河町、5 月 25～29 日)が行われます。詳細は JOA や IOF のホームページで公開する Bulletin0(予告要項)をご覧ください。

https://www.orienteering.or.jp/wp-content/uploads/2025/05/Bulletin0_20250511.pdf

参加資格は、1992 年以前に生まれた方ならどなたでも参加できます。あなたにも、ワールドチャンピオンになる可能性があります！ 正式な募集要項は 2025 年 11 月頃に公示される予定で、エントリー開始は 2026 年の春頃から開始になる予定です。

尚、WMG では他にも開催される種目があり、WMG にエントリーすると全部で 5 種目(オリエンテーリングはスプリントとフォレストの 2 種目)まで参加できますので、日程が合えば他の競技にも参加できます。WMOC としては、スプリント、フォレストミドル、フォレストロングの 3 つのメダルを争うことになります。

また、大会運営に関わっていただける方(関西地区在住の方)も募集いたします。お問い合わせは JOA 事務局(担当;山本)までお願いいたします。

●今後の公認大会・国際大会・講習会のお知らせ(事務局)

2025 年

8 月 26-31 日	AsJYOC2025 アジアジュニアユース選手権	(愛知県)
9 月 10-20 日	イベントディレクタ認定試験	
10 月 4 日	第 14 回全日本オリエンテーリング選手権大会(ミドル・ディスタンス競技部門)	(栃木県)
10 月 5 日	第 52 回全日本オリエンテーリング選手権大会(ロング・ディスタンス競技部門)	(栃木県)
10 月 19 日	ねんりんピック岐阜 2025 オリエンテーリング併設 JOA 公認大会	(岐阜県)
10 月 25-26 日	ナビゲーション講習・スキル検定 シルバーレベル	(関東)
11 月 9 日	第 34 回全日本リレーオリエンテーリング大会	(滋賀県)
11 月 15-25 日	東京 2025 デフリンピック	(東京都)
12 月	ナビゲーション講習・スキル検定 シルバーレベル	(大阪府)

2026 年

2 月	ナビゲーション講習・スキル検定 シルバーレベル	(愛知県)
2 月 28 日-3 月 6 日	WUSOC2026 スキーオリエンテーリング世界選手権	(北海道)
3 月 10-20 日	イベントディレクタ認定試験	
3 月	ナビゲーション講習・スキル検定 ゴールドレベル	(大阪府)

2027 年

5 月 21-29 日	WMOC2027 マスターズ世界選手権	(兵庫県)
-------------	---------------------	-------

以上